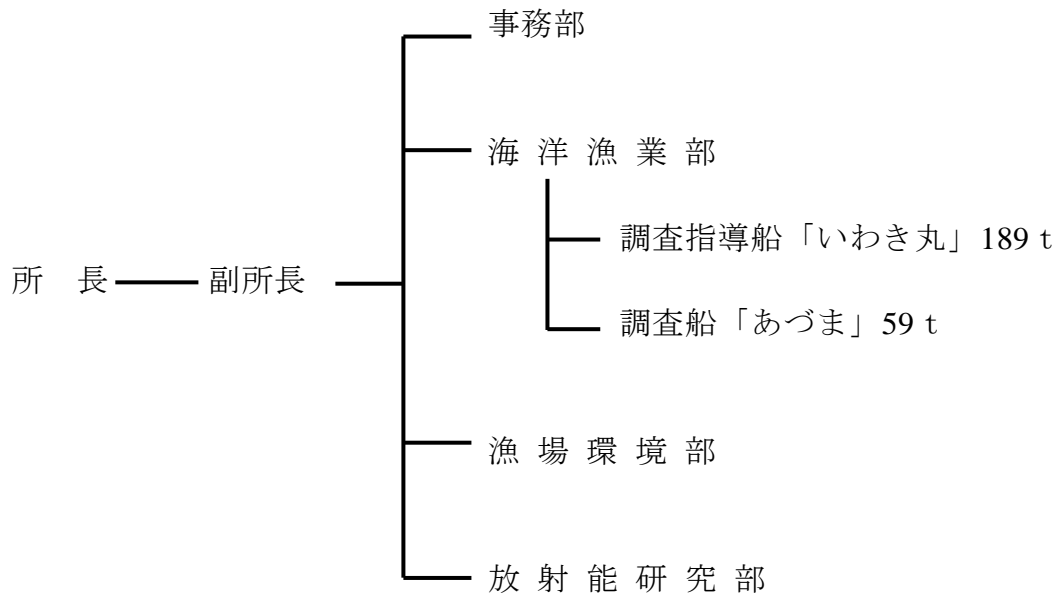


I 庶務一般

1 組織・機構

(1) 水産海洋研究センター (R2.3.31)



所在地等

水産海洋研究センター 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下 13 番地の 2
電話 0246-54-3151~3 FAX 0246-54-9099
E-mail kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

2 平成 31 年度事業別予算 (千円)

款 総務費	597
項 総務管理費	597
目 一般管理費	173
目 人事管理費	424
款 衛生費	5,450
項 環境保全費	5,450
目 原子力安全対策費	5,450
款 農林水産業費	393,710
項 農業費	16,364

目	農業総務費	12,973
目	農業改良振興費	3,392
項	水産業費	377,347
目	水産業総務費	93
目	水産業振興費	35,005
目	漁業調整費	13,936
目	水産試験場費	179,002
目	漁業調査指導費	149,312
款	商工費	11
項	商工業費	11
目	工業振興費	11
合 計		399,767

II 平成31年度の刊行物

- 1 平成30年度事業概要報告書（水産試験場ホームページに掲載）

III 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和2年1月16～17日

開催場所 水産海洋研究センターセミナールーム

開催経過 令和元年度の「普及に移しうる成果」6課題、「放射性関連課題成果」3課題、「参考となる成果」4課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成 果 課 題 名	区 分	担 当 者
・福島県沖水深100mでの調査船による漁獲物の多様性と群集組成の変化	普及成果	鈴木翔太郎ほか
・調査船及び底びき船による主要魚介類の資源水準と動向	普及成果	坂本 啓 ほか
・福島県の震災前後の底びき網漁業の操業実態	普及成果	坂本 啓 ほか
・カタクチイワシ仔魚採取尾数の減少とシラス漁業の現状	普及成果	森下 大悟
・コウナゴ不漁前に確認された仔魚採取尾数の減少について	普及成果	森下 大悟
・ヒラメの脂質及び遊離アミノ酸濃度の季節変化からみた旬	普及成果	森下 大悟

<ul style="list-style-type: none"> ・海産魚類における放射性物質濃度の経時変化 ・海産魚介類の放射性セシウムの減少傾向とその特徴 ・海底土の放射性セシウム濃度の低下傾向とばらつき ・分布密度からみる本県沖のケガニの資源水準 ・潮流データを用いた沖合域の暖水波及解析 ・アワビ試験操業における単価と漁獲物サイズの関係 ・福島県 10 河川の 2020 年サケ回帰予測 	放射性成果 放射性成果 放射性成果 参考成果 参考成果 参考成果 参考成果	天野洋典 ほか 鈴木翔太郎ほか 鈴木翔太郎ほか 安倍 裕喜 ほか 真壁 昂平 金子 直道 金子 直道
--	---	--

(2) 水産試験場研究成果報告会

開催年月日	場 所	対象者・人数	発表課題
R2. 3. 19	福島県水産会館 研修室	いわき地区関係 漁業者 20名	(1)海産魚介類の放射性セシウム濃度 (2)震災後、底魚類の資源利用状況 (3)操業効率化、資源管理、流通の体系化に関する実証研究
R2. 3. 23	相馬双葉漁業協 同組合 会議室	相双地区内関係 漁業者 40名	(1)海産魚介類の放射性セシウム濃度 (2)震災後、底魚類の資源利用状況 (3)操業効率化、資源管理、流通の体系化に関する実証研究

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

※H28年度：9、H29年度：10、H30年度：4

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
令和元年度東北ブロック 水産海洋連絡会	クラスター解析を用いた 福島県海域の水塊区分と 各水塊の季節変動	真壁昂平	R1. 11. 18	宮城県仙台市 戦災復興記念 館

(2) 投稿論文

※H28年度：4、H29年度：6、H30年度：1

投稿先	論文課題名	投稿者	印刷月
東北底魚研究第39号	福島県の震災前後の底びき網漁業の操業実 態及び調査船いわき丸による底びき網調査 結果	坂本啓・安倍裕 喜・松本陽・山 田学	R1. 12

3 漁業者等研修会の実施状況

※H28年度：23、H29年度：18、H30年度：2

年月日	研修・会議等の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R1.6.11	青年漁業士講座	海産魚介類のモニタリング検査と漁業の現状	漁業者代表 3名	水産資源研究所

4 県民への研修会等の実施状況

※H28年度：58、H29年度：39、H30年度：30

年月日	研修・会議の名称	研修・会議内容	対象者・人数	備考
H31.4.2	韓国メディア取材	福島県の実産魚介類の安全性	2	小名浜魚市場
H31.4.11	韓国テレビ取材	福島県の実産魚介類の安全性	2	小名浜魚市場
R1.5.30v	生活協同組合コープこうべ視察	福島県の実産魚介類の安全性	7	小名浜魚市場
R1.6.10	IAEA 視察	福島県の実産魚介類の安全性	13	小名浜魚市場
R1.6.18	青森県白糖漁業協同組合視察	福島県漁業の特徴と実産魚介類の放射線モニタリング検査と福島県における漁業の現状	10	小名浜魚市場
R1.7.13	大阪府生協連視察	福島県の実産魚介類の安全性	10	小名浜魚市場
R1.7.23	海外フリーライター取材	福島県の実産魚介類の安全性と漁業の現状	3	小名浜魚市場
R1.9.3	日本大学	福島県の実産魚介類の安全性と漁業の現状	30	
R1.9.11	バイヤーツアー	福島県における実産魚介類の安全性と水産業の復興状況	44	小名浜魚市場
R1.9.12	公開講座（中央台南中）	福島県の実産魚介類の安全性	26	
R1.9.13	香港輸入会社社長視察	福島県の実産魚介類の安全性	1	
R1.9.13	公開講座（上遠野小）	福島県の実産魚介類の安全性	31	
R1.9.17	大東文化大学法学部視察	福島県の実産魚介類の安全性	6	
R1.9.20	公開講座（平三小）	福島県の実産魚介類の安全性	76	
R1.9.24	海外インフルエンサー取材	福島県の実産魚介類の安全性	2	
R1.9.30	市民学習	福島県における実産魚介類の安全性と水産業の復興状況	13	水産会館研修室

R1.10.1	外務省外国メディア向けプレスツアー	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	16	
R1.10.2	二本松氏女性防火クラブ塩沢支部視察	魚介類の安心安全講座	7	
R1.10.9	バイヤーツアー	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	44	小名浜魚市場
R1.10.9	他県支援職員視察	魚介類の安全・安心講座	20	
R1.10.28	グリーンピース取材	福島県の海産魚介類の安全性	4	
R1.10.30	白岡市行政区長会(埼玉県)視察	福島県の漁業の現状、試験操業、放射性物質のモニタリングについて	45	
R1.11.12	復興庁メディアツアー(中国取材団)	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	20	
R1.11.13	新潟生協連視察	福島県の海産魚介類の安全性	10	小名浜魚市場
R1.11.18	東日本大震災支援会(神戸市)視察	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	40	
R1.12.9	公開講座(豊間中)	福島県の海産魚介類の安全性	31	
R1.12.13	台湾インフルエンサー取材	福島県の海産魚介類の安全性	2	
R1.12.26	いわき高校化学部	福島県の海産魚介類の安全性	6	
R2.1.21	外務省外国メディア向けプレスツアー	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	16	
R2.1.31	大阪府生協連視察	福島県の海産魚介類の安全性	20	小名浜魚市場
R2.2.6	バイヤーツアー	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	44	小名浜魚市場
R2.3.3	在京外交官ステディーツアー	福島県における海産魚介類の安全性と水産業の復興状況	10	

5 緊急時モニタリング調査関係報告会

※平成28年度：45、平成29年度：40、H30年度：41

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
H31.4.16	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	相馬双葉漁協
H31.4.16	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
H31.4.17	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 50名	福島県水産会館
H31.4.24	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 58名	福島県水産会館
H31.5.21	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 40名	福島県水産会館
H31.5.22	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 50名	福島県水産会館
H31.5.29	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	福島県水産会館
R1.6.19	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 40名	福島県水産会館
R1.6.26	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	いわき市中央台公民館
R1.7.23	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 40名	福島県水産会館
R1.7.26	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 50名	福島県水産会館
R1.7.30	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 67名	福島県水産会館
R1.8.19	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R1.8.29	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	いわき市中央台公民館
R1.9.20	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R1.9.24	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 43名	いわき市中央台公民館
R1.9.27	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	福島県水産会館
R1.10.21	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 40名	福島県水産会館

R1. 10. 23	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 41名	福島県水産会館
R1. 10. 31	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 59名	福島県水産会館
R1. 11. 20	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R1. 11. 21	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 44名	福島県水産会館
R1. 11. 26	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 64名	福島県水産会館
R1. 12. 10	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R1. 12. 26	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 66名	いわき市中央台公民館
R2. 1. 21	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R2. 1. 23	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 44名	福島県水産会館
R2. 1. 30	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 64名	いわき市中央台公民館
R2. 2. 17	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R2. 2. 20	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 44名	福島県水産会館
R2. 2. 28	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 63名	いわき市中央台公民館
R2. 3. 19	成果報告会（いわき地区）	モニタリング結果報告	漁業者代表 50名	福島県水産会館
R2. 3. 23	成果報告会（相双地区）	モニタリング結果報告	漁業者代表 40名	相馬双葉漁協
R2. 3. 24	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 45名	福島県水産会館
R2. 3. 30	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表 60名	いわき市中央台公民館

6 小中学校での総合学習

年 月 日	学 校 名
R1.6.10	双葉中学校

7 一般公開

(1) 月別見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生						112							112
中学生						34			35				69
一般			7	123	10	54	69	63	512	18	37	8	901
合計			7	123	10	200	69	63	547	18	37	8	1,082

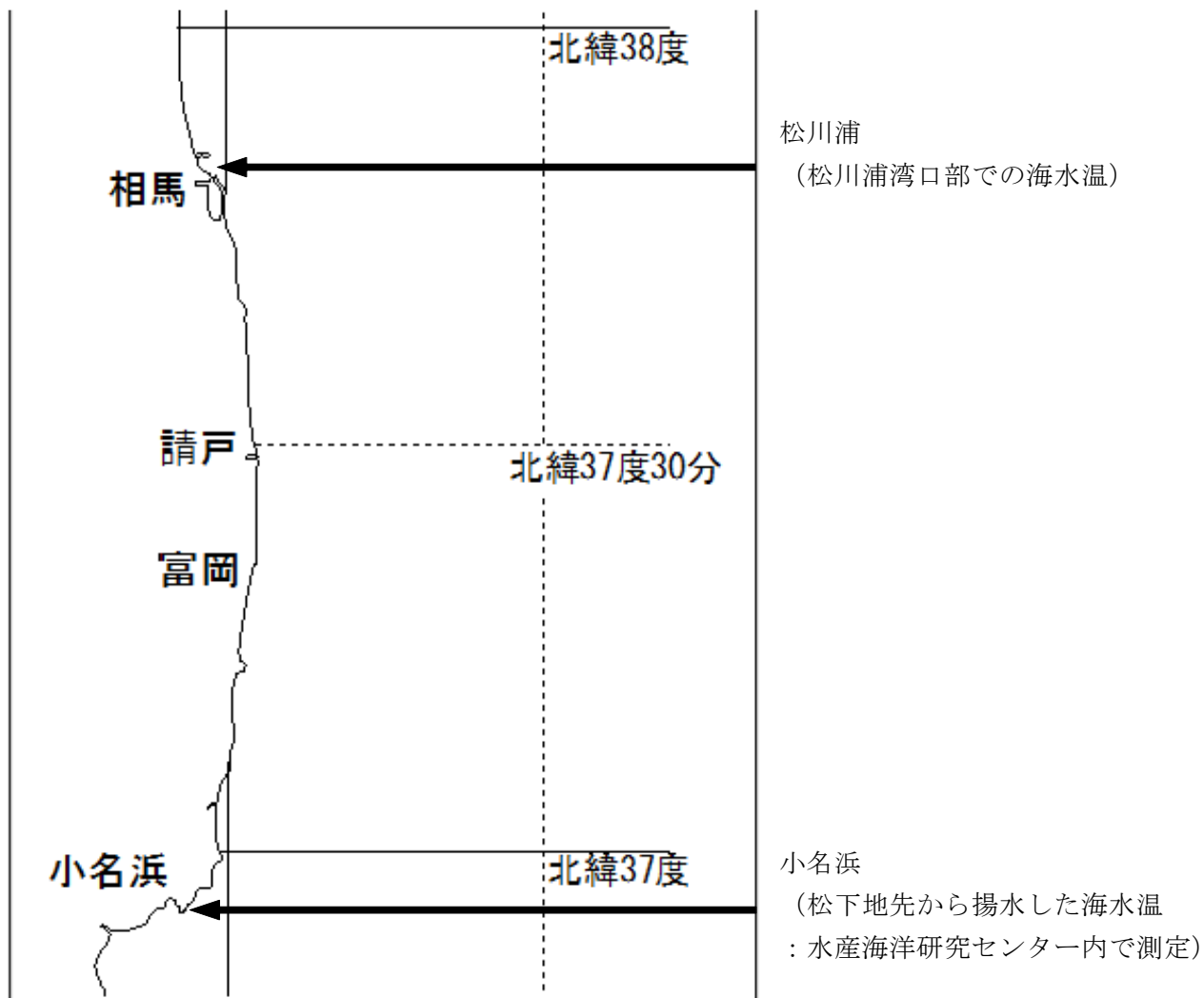
(2) 水産海洋研究センター参観デー（福島県豊かな海づくり大会）開催状況

開催年月日・場所	来場者数	内 容	
令和元年12月1日 10:00～15:00 水産海洋研究センター	約500名	特別講演	福島の海の今～放射能汚染の推移と現状 東京海洋大学 石丸 隆 名誉教授
		施設見学	施設見学と研究成果の展示
		体験コーナー	魚拓づくり体験、おさかな解剖教室、かまぼこづくり体験

(3) 水産海洋研究センター ホームページによる情報公開

下記情報については、過去のデータが pdf 形式で閲覧可能であるとともにダウンロードが可能

- ア 漁海況速報：原則、毎週金曜日に発行とホームページ公表
- イ 月別水温情報：30 海里、50 海里内の平均水温を毎月 1 回ホームページで公表
- ウ 定地水温情報：松川浦（相馬市尾浜）、小名浜（いわき市小名浜）の 2 定地で観測時刻が松川浦 9:00、小名浜 10:00 の測定水温をホームページで公表



IV 職員名簿

所属	職名、氏名	職名、氏名
	所長 涌井邦浩	副所長 山本達也 主幹 門馬秀幸
事務部	事務長 紺野保幸 主査 佐藤良子	主査 吉田治久
海洋漁業部	部長（兼務） 山本達也 研究員 坂本 啓 研究員 安倍裕喜	主任研究員 鷹崎和義 研究員 真壁昂平 専門員 佐藤美智男
調査指導船 いわき丸	船長 伊藤勝彦 通信長 鈴木正剛 主査（兼）一等航海士 藤健太郎 主査（兼）一等航海士 小塚智也 主査（兼）一等機関士 福林 悠 技師（兼）二等航海士 高木悠剛 専門員 黒川義彦	機関長 奥藤 賢 主査（兼）一等航海士 須賀浩司 主査（兼）一等航海士 佐藤笑子 主査（兼）一等航海士 圓谷 啓 副主査（兼）二等機関士 佐々木和幸 技師（兼）二等機関士 鈴木柊佑 主任技能員 新田勝己
漁場環境部	部長 後藤勝彌 研究員 金子直道	研究員 森下大悟 専門員 鈴木章一
放射能研究部	部長 神山享一 研究員 鈴木翔太郎 専門員 鈴木俊二	副主任研究員 天野洋典 専門員 鈴木 信

令和2年3月31日現在